

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

認定事項等	確 認 項 目	設計内容説明欄※		記載図書	設計内容 確認欄
		項 目	設計内容		
1. 劣化対策等級 (構造躯体等)	セメント	セメントの種類	☐ ポルトランドセメント (JIS R 5210) (☐ 中庸熱 ☐ 低熱 ☐ その他) ☐ フライアッシュセメント (JIS R 5213) ☐ 高炉セメント (JIS R 5211)	☐ 仕様書 ☐	
	コンクリートの 水セメント比	最小かぶり 厚 さ	・ 土に接しない部分 耐力壁以外の壁 床屋内(mm) 屋外(mm) 耐力壁、柱、はり 床屋内(mm) 屋外(mm) ・ 土に接する部分 壁、柱、はり、床、基礎の立ち上がり部分 (mm) ・ 基礎(立ち上がり部分を除く) (mm) ・ 外壁仕上 [☐ タイル貼 ☐ モルタル塗 ☐ 外断熱工法 ☐ その他 ()]	☐ 仕様書 ☐	
			水セメント比	コンクリートの種類 (☐ 普通コンクリート ☐ 軽量コンクリート) ・ 水セメント比 (%)	
	部材の設計・ 配筋	設計かぶり厚 さ	・ 施工誤差 (mm)	☐ 仕様書 ☐	
	コンクリートの 品質等	ス ラ ン プ	(cm)	☐ 仕様書	
		単 位 水 量	(kg/m ³)	☐	
		空 気 量	(%)		
	施 工 計 画	コンクリートの 充 填 方 法 等	・ 打込・締め固め方法 () ・ 打継ぎ部の処理方法 () ・ 養生方法 ()	☐ 仕様書 ☐	
2. 耐震性 (倒壊等防止)	構 造 軀 体 及び 基 礎 等	構 造 軀 体	・構造計算方法 ☐ 限界耐力計算 ☐ 保有水平耐力計算(ルート3) ☐ 許容応力度等計算(ルート2) ☐ 許容応力度計算(ルート1) ☐ その他 ☐ 大臣認定書(基準法)の活用	☐ 構造計算書 ☐ 仕様書 ☐ 構造図 ☐ 矩計図 ☐	
		☐ 等級3 ☐ 等級2			
		限 界 耐 力 計 算	☐ 各階の安全限界変形の基準に適合		
		保有水平耐力 計 算 (RC 造 また は SRC 造 に 限 る)	☐ 等級1の基準に適合 ☐ 各階のDSの数値がRC造では0.3、SRC造では0.25であり、かつ極めて 稀に発生する地震力による応答変位の当該階高さに対する割合が1/75以下 ☐ 各階のDSの数値がRC造では0.55、SRC造では0.5である		
		免 震	☐ 免震建築物 ☐ 平成12年建設省告示2009号第1第3号による規程		
		免震建築物	・ 同告示第2の該当する号 ☐ 一号 (四号建築物) ☐ 二号 (建築基準法20条第二号に掲げる建築物) ☐ 三号 (時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得) ・ 免震層、免震材料の維持に関する計画 ☐ 免震材料等の維持管理に関する計画 ☐ 敷地の管理に関する計画		

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

認定事項等	確 認 項 目	設計内容説明欄※			記載図書	設計内容 確認欄	
		項 目	設計内容				
4. 維持管理 更新の容易性 (共用配管) (ガス管を除く)	共用配管	コンクリート 内埋込み 配管	・ 排水管 (☐ 無 ☐ 有) ・ 給水管 (☐ 無 ☐ 有) ・ 給湯管 (☐ 無 ☐ 有)		☐ 仕様書 ☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩形図 ☐ 設備図 ☐ 構造図 ☐ ☐		
		地中埋設管	地中埋設管 上のコンクリ ート打設	・ 排水管 (☐ 無 ☐ 有) ・ 給水管 (☐ 無 ☐ 有) ・ 給湯管 (☐ 無 ☐ 有) ☐ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設が定められている地域			
	(等級3とする 場合の例)	共用排水管	排水菅の 清掃措置 掃除口の 点検措置	・ 共用立管 管の種類 掃除口の位置 点検措置 () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) ・ 横主管 管の種類 掃除口の位置、間隔 点検措置 () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口)			
		排水管の性状 等(継手及び ヘッダーを含 む)	排水菅等の 内面 設置状態	☐ 平滑である(仕様等 			

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄※		記載図書	設計内容確認欄
		項目	設計内容		
5. 高齢者等対策 (共用部分)	共用廊下	共用廊下の幅員	有効幅員 (mm)	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 矩形図 ☐	
		外部開放廊下の転落防止用手すり	・ 転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網		
	共用階段	勾配等	・ けあげ (mm) ・ 踏面 (mm) ・ 勾配 (/)	☐ 平面図 ☐ 階段詳細図	
		蹴込み	・ 蹴込み寸法 (mm) ・ 蹴込み板 (☐ 無 ☐ 有)		
		形式等	・ 階段の形式 (☐ 踊り場付き折れ階段 ☐ 直階段 ☐ その他) ・ 最上段の通路等への食い込み (☐ 無 ☐ 有) ・ 最下段の通路等への突出 (☐ 無 ☐ 有)		
		滑り防止	・ 滑り止め (☐ 無 ☐ 有、踏面と同一面)		
		段鼻	・ 段鼻の出 (☐ 無 ☐ 有)		
		転落防止用 手すり(外部開放階段)	・ 転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網		
		共用階段の幅員	・ 有効幅員 (mm)		
		手すり	☐ 有 ☐ 無		
	エレベーター	エレベーターの利用	・ 住戸の位置 (☐ 建物出入口に存する階 ☐ 左記以外) ・ エレベーター設置 (☐ 無 ☐ 有)	☐ 仕様書 ☐ 平面図	
		エレベーターの仕様	・ 出入口の有効幅員 (mm)	☐	
		エレベーターホールの広さ	・ エレベーターホールの寸法 (mm × mm)		
6. 省エネルギー対策	【一次エネルギー消費量等級】	評価方法	☐ 住棟評価(詳細は第三面にて記載) ☐ 単位住戸評価		

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

住戸番号	
建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

認定事項等	確 項 目	認 目 項	設計内容説明欄※		記載図書	設計内容 確認欄
			項	目		
3. 可 変 性			・ 躯体天井高さ () mm以上) ☐ 可変性の確保に有効な高さを含める(区分所有住宅以外の住宅に限る)		☐ 矩形図 ☐ ☐	
4. 維持管理 更新の容易性 (専用配管) (ガス管を除く)	専 用 配 管	コンクリート 内 埋 込 配 管	☐ 給水管、排水管及び給湯管のコンクリート内への 埋め込み無し(コンクリートブロックを含む)		☐ 仕上表 ☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 基礎伏図 ☐ 構造図 ☐ 設備図 ☐ ☐	
		他住戸内の 専用部内の 設 置	☐ 給水管、排水管及び給湯管の他住戸専用部内への設置無し ☐ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている※ (※:区分所有住宅以外の住宅に限る)			
	地中埋設管	☐ 排水管 (☐ 無 ☐ 有) ☐ 給水管 (☐ 無 ☐ 有) ☐ 給湯管 (☐ 無 ☐ 有) ☐ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設が定められている地域				
	専用排水菅	排 水 菅 の 清 掃 措 置	・ 便所 [☐ 共用縦管に隣接 ☐ 掃除口 (露出又は開口有)] ・ その他の水まわり [☐ トラップ ☐ 掃除口 (露出又は開口有)]			
	排水管の形状 等(継手及び ヘッダーを含 む)	排 水 菅 等 の 内 面	☐ 平滑である(仕様等) ☐ その他 ()			
		設 置 状 態	☐ たわみ等が生じないように設置 措置 () ☐ その他 ()			
	配管点検口	主要接合部 等の点検措置	・ 排水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()] ・ 給水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()] ・ 給湯管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()] ・ 給水管とバルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()] ・ 給湯管とバルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()]			

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

設計内容説明書【RC共同住宅等(住戸用)】

認定事項等	確 認 項 目	設計内容説明欄※		記載図書	設計内容 確認欄
		項 目	設計内容		
6.省エネルギー対策 【断熱等性能等級】	適用する基準	適用する基準	☐ 非住宅・住宅計算方法	☐ 計算書 ☐ 仕上表	
	躯体・開口部の断熱性能等級	外皮平均熱貫流率	☐ 外皮平均熱貫流率(U_A 値)の基準に適合	☐ 平面図 ☐ 立面図	
		冷房期の平均日射熱取得率	☐ 冷房期の平均日射熱取得率(η_{AC} 値)の基準に適合	☐ 矩計図 ☐ 建具表	
	結露防止対策	結露の発生防止対策	☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等を使用する場合) ☐ 設置 () ☐ 省略 () ☐ 通気層の設置(外壁・屋根を断熱構造とする場合) ☐ 屋根 [☐ 有 () ☐ 省略 ()] ・防風層の設置 () ☐ 外壁 [☐ 有 () ☐ 省略 ()] ・防風層の設置 ()	☐	
【一次エネルギー消費量等級】	適用する基準	適用する基準	☐ 非住宅・住宅計算方法 住棟評価の場合は以下のいずれかを選択 ☐ 住棟評価(単位住戸の合計) ☐ 住棟評価(単位住戸の合計+共用部)	☐ 仕上表 ☐ 計算書 ☐ 面積表 ☐ 平面図 ☐ 機器表 ☐ 系統図	
	一次エネルギー消費量	居室の面積	・合計の床面積 ・主たる居室 ☐ 一次エネルギー消費量計算結果による ・その他の居室		
		一次エネルギー消費量	・基準一次エネルギー消費量 ☐ 一次エネルギー消費量計算結果による ・設計一次エネルギー消費量		
		設備機器等の使用	☐ 一次エネルギー消費量計算結果による		
7.住宅の規模	住宅面積	住宅の面積	・住宅の専用面積 (m^2) ・40 m^2 以上ある階 (階) (m^2) うち階段部分面積 (m^2)	☐ 求積図 ☐	
8.維持保全の方法		維持保全の期間等	・期間 () 年以上 ☐ その他の基準への適合	☐ 申請書 ☐ 維持保全計画書	
9.資金計画		費用の設定	☐ 建築に要する費用の設定 ☐ 維持保全に要する費用の設定	☐ 申請書	
10.居住環境への配慮	まちなみへの配慮	地区計画等への適合	・地区計画等、景観計画、建築協定、景観協定、条例、その他地方公共団体が自主的に定める要綱等がある区域 ☐ 区域外 ☐ 区域内該当する地区計画等の名称 () ☐ 適合 ・住宅の建築制限がある都市計画施設等の区域として、所管行政庁が選定・公表したものの区域 ☐ 区域外	☐ 別添	
11.自然災害への配慮		区域等への該当有無	・自然災害のリスクが特に高い区域 ☐ 区域外 ・自然災害のリスクに応じて、建築禁止から建築制限まで、所管行政庁が選定・公表したものの区域 ☐ 区域外 ・一定の自然災害のリスクはあるものの、建築制限はなく一律に居住を避けるべきとまではいえない区域 ☐ 区域外 ☐ 区域内 () ☐ 所管行政庁が定める必要な措置に適合	☐ 別添	

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。